



第35回猿払村拓心中学校卒業証書授与式 希望を胸に学びや巣立つ

3月13日、第35回猿払村拓心中学校卒業証書授与式が行われ、卒業生27名が新たな進路に向けて、一步を踏み出しました。

今回の卒業式は、新型コロナウイルスの影響により、在校生、来賓の出席はなく、卒業生と保護者のみの参加となってしまいましたが、拓心中学校の伝統である合唱を、卒業生が素晴らしい歌声で披露していました。

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。これからも自分の選んだ道で精一杯頑張ってください。



株式会社ササキ様へ感謝状贈呈 感謝の意を込めて

3月9日、伊藤村長から株式会社ササキ様（代表取締役 佐々木 正明氏）に感謝状が贈呈されました。この感謝状は、社会貢献活動の一環として、浜鬼志別・知来別漁港内の除排雪並びに氷割り作業を行っていただいたことに感謝の意を込めて贈られました。



和菓子作り教室 みんなで楽しく和菓子づくり

2月22日、和菓子づくり教室が保健福祉総合センターで開催され、11名が参加しました。今は閉店した藤田商店の、うぐいす餅、さくら餅の味を無くしたくないとの思いから、天北の長寿焼きサークルの方々が店主に作り方を教わり、数年前から開催しています。講師からポイントを教わりながら、うぐいす餅とさくら餅の2種類を作りました。慣れない和菓子づくりに苦戦しながらも、参加者同士協力しながら、3時間程できれいな和菓子が出来上がりました。参加者からは、「初めて和菓子を作ったが、楽しかった」との声がありました。



畠山氏 交通栄誉章受章 地域の交通安全に尽力

2月20日、畠山末蔵氏が警察庁並びに全日本交通安全協会より、交通栄誉章「緑十字 金章」の受賞報告を、村長室で行いました。

畠山氏は、昭和52年6月以来、42年間にわたり安全運転管理者として事業所の交通事故防止に努め、併せて稚内地区安全運転管理者協会副会長兼猿払支部長や、猿払村交通安全推進連絡協議会理事として、地域の交通事故防止と交通秩序の確立を推進していた等の功績が認められ、今回受賞となりました。



廃棄物処理基本計画案 答申

ごみ排出の抑制へ連帯感をもって！

3月16日、猿払村廃棄物減量等推進審議会は、伊藤村長に対し、猿払村一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の改正について答申しました。

伊藤村長は答申を受け、「ごみ排出ルールをきちんと守り、1人ひとり当たりの排出抑制への意識を高め、猿払村のよりよい環境向上に努めたい」と述べ、村民の排出抑制やリサイクル推進への意識高揚に村を挙げて取り組んでいくことを決めました。



3歳児むし歯ゼロの子表彰

毎日の歯磨きで虫歯予防

3歳児むし歯ゼロの子表彰の一環として、保健福祉総合センターに来所されたお子さんへ表彰状と記念品の贈呈がありました。虫歯がなく健康な幼児と保護者に対して、歯科衛生の向上に努めたこと、また、他の模範となることから表彰するものです。今年は23名が受賞対象者となりましたが、感染症蔓延予防のため表彰式は中止となりました。受賞された保護者は「お菓子を食べたら歯磨き、飲み物はお茶か水を心がけています。」などと話されていました。これからも健康な歯を大切にしてください。



船下ろし

大漁を願って！！

3月3日、4日の2日間で、ほたて・毛がに漁船等35隻の船下ろし作業が浜鬼志別漁港で行われました。10日にホタテ漁が解禁となり、知来別漁港から15隻、浜鬼志別漁港から11隻の計26隻が各漁港を出港し、291tものホタテが水揚げされました。

今年度は、46,000tのホタテを水揚げする計画となっており、稚具放流が終わり次第、本操業に着手する予定です。



自治会連合会サークルボール大会

サークルボールで村民交流

2月23日、農村環境改善センターで猿払村自治会連合会主催のサークルボール大会が行われ、15チーム75名が参加しました。予選は4つのリーグ戦を行い、各リーグ上位2チームが決勝トーナメントへ進出し、新人入団チームが優勝しました。競技後は昼食をとりながら、表彰式と特産品抽選会を行い、参加者同士交流を図りました。結果は下記のとおりです。

- | | |
|----------|----------|
| 1位 新人入団 | 4位 SBT5 |
| 2位 愛 アイ | 5位 わんちーむ |
| 3位 チーム白取 | |

